

おしらせ

論文集刊行についてご報告

「満洲の記憶」研究会では、この度論文集として、佐藤量・菅野智博・湯川真樹江編『戦後日本の満洲記憶』（東方書店、2020年4月）を刊行することとなりました。以下、その概要や目的について紹介させていただきます。

本論文集では、満洲引揚者の戦後経験と記憶表象に注目し、引揚者の歴史を戦後日本社会の中に位置づけ直すことを試みました。注目するのは、満洲経験者が書き残し続けた会報です。会報を通して、戦後の長い時間をかけて書き手の世代交代も経ながら蓄積されてきた満洲経験者の語りの変遷を知ることができ、集団それぞれの物語や記憶が構築されていく過程を読み取ることが可能になると考えています。

そして、戦後日本における満洲の記憶のあり方を問うということは、戦後日本がいかに加害の歴史や植民地経験を忘却してきたかを改めて問い直すことであり、帝国の崩壊に伴う社会再編のあり方を再考することとなります。これは今日

にも連綿と続く「国民」と「他者」をめぐる包摂／排除に関する現代的問いであるともいえます。



佐藤量・菅野智博・湯川真樹江編『戦後日本の満洲記憶』東方書店、2020年4月刊行 / A5判 368頁 / 本体 5,000円 + 税 ISBN : 978-4-497-22004-2

論文集『戦後日本の満洲記憶』目次

序章 〔佐藤量〕

第Ⅰ部 闘う記憶

戦後日本における国策会社の表象とその変遷——1950～60年代の恩給請願運動を事例に〔大野絢也〕

満洲興農合作社同人会の活動からみる戦前の表象と語りの特徴——恩給請願運動に着目して〔湯川真樹江〕

満洲国軍出身日本人の恩給請願運動と満洲国・満洲国軍像〔飯倉江里衣〕

第Ⅱ部 葛藤する記憶

青少年義勇軍の記憶——会報を通じた継承と変容〔大石茜〕

ふるさとの語り方——大連引揚者二世の編纂物にみる満洲の記憶〔佐藤仁史〕

語られる「安東史」——1950～1970年代初期における『ありなれ』を中心に〔菅野智博〕

【コラム】間島中学校出身日本人の訪中と訪韓〔尹国花〕

【コラム】満蒙開拓団「集団自決」の語りと〈沈黙〉——久保田諫さんとの出会い〔本島和人〕

第Ⅲ部 周縁の記憶

女学生の満洲観——大連弥生高等女学校同窓会誌『弥生会々報』の分析から〔佐藤量〕

冷戦体制下における大同学院同窓会——日本と台湾の場合〔林志宏〕

戦後日本社会における中国帰国者をめぐる記憶とその変容——中国帰国者の会と鈴木則子を中心に〔森巧〕

【コラム】ある自分史にみる満洲の記憶と地域史研究の役割〔安岡健一〕

【コラム】ある牧師の国際移動と教会ネットワーク——アメリカ・満洲・日本〔甲賀真広〕

【コラム】メディア関係者がみた満洲〔安藤恭子〕

問い合わせ先

東方書店 【中国・本の情報館】 <https://www.toho-shoten.co.jp>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3

営業電話 03-3937-0300/FAX03-3937-0955

メールアドレス tokyo@toho-shoten.co.jp

資料提供のお願い

「満洲の記憶」研究会では、満洲に関する資料を収集しております。「寄贈資料目録」に示したように、これまでに書籍や会誌、写真、ハガキ、書簡など多数の資料を寄贈・貸与していただきました。これらの資料は満洲の記憶を継承する上で極めて貴重な資料であると考えております。

ご提供いただきました資料は本研究会が整理・管理し、学術研究において活用いたします。資料の公開方法は、資料目録を作成して本ニューズレターに掲載させるという形式を採ります。提供資料に

含まれる個人情報等には深甚な配慮をいたします。

また、お手持ちの資料には、貴重なもの、思い入れの強い品でお手元に置いておかれたいものなどもおありのことと思います。資料のご提供ではなくとも、本研究会の編集委員メンバーによって複製・撮影等をさせていただくという方法もごございます。そのような希望がありましたら、ご相談いただければと存じます。ぜひ情報を本研究会までお寄せくださいますよう、ご協力お願いいたします。

カンパのお願い

「満洲の記憶」研究会では、継続して皆様からのカンパを募っております。本研究会は若手研究者・大学院生が中心となって運営しているため、これまで編集委員の寄付によって活動を続けてまいりました。

しかし、活動範囲が海外および日本全国に拡がり、予想以上に多くの資料が集まったことにより、資料調査や整理・電子化などに使用する資金が慢性的に不足する状況となっております。そのため研究活動の資金使用のみに限定した口座を開設し、研究会の活動に御賛同いただける方から、御支援を賜りたく存じます。カンパは1口1,000円で、文末に記載し

ている銀行口座へお振込いただけたら幸いです。

なお、御支援をいただいた方には、ニューズレター内にてお名前を掲載し、御支援いただいたことを皆様に紹介させていただく予定です（お名前の掲載を希望されない方は事前に御連絡ください。そのように対応いたします）。また、カンパしてくださった方は、必ず本研究会宛にメールまたはお手紙で御連絡ください。

研究会としても誠実かつ積極的に活動をしてまいりますので、御支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

「満洲の記憶」研究会銀行口座

銀行：三井住友銀行

支店：国立支店（店番号：666）

種類：普通預金

口座番号：8088124

口座名：菅野智博（カンノ トモヒロ）

会員募集及び情報配信のお知らせ

本研究会は随時会員を募集しています。年会費は無料となっております。会員には、ニューズレター及びイベント情報の配信を行います。入会希望者は次の連絡先まで御連絡ください。

ブログ：<http://manshunokioku.blog.fc2.com/>

Facebook：「満洲の記憶」研究会

[https://www.facebook.com/groups/35955933](https://www.facebook.com/groups/359559330877470/)

[0877470/](https://www.facebook.com/groups/359559330877470/)